

令和2年度 学校運営自己評価結果

1、自己評価の結果

1) カテゴリー別の結果

カテゴリー	R2	R1	H30
(1)教育理念・目的・目標・育成人材像	2.8	2.9	2.7
(2)教育（実習含む）活動	2.8	2.8	2.5
(3)教育成果	2.9	2.8	2.4
(4)学校運営	2.9	3.2	2.9
(5)学生支援	2.8	3.3	2.9
(6)教育環境	2.8	3.1	2.7
(7)経営管理	2.7	3.0	2.8
(8)学生募集、入学者選考等	3.2	3.4	3.3
(9)法令等の遵守	2.9	3.2	3.1
(10)社会貢献・地域貢献	2.5	2.8	2.8
平均点	2.8	3.1	2.8

2) 評価項目（1～52）の結果について

① 昨年と比べ、平均点が0.5ポイント以上高かった項目

カテゴリー	番号	項目	R2	R1	H30
(3)教育成果	13	資格取得率（国家試験合格）の向上に向け、教職員全体で取り組んでいるか	3.6	3.1	2.5

② 昨年と比べ、平均点が0.5ポイント以上低かった項目

カテゴリー	番号	項目	R2	R1	H30
(4)学校運営	21	人事・給与に関する規定があり、適切に運用されているか	2.4	3.1	2.7
(5)学生支援	31	保護者と適切に連携して学生に支援にあたっているか	2.5	3.4	2.5
//	32	卒業生への支援体制を整備し、必要な対応を実施しているか	2.3	2.9	2.3
(7)経営管理	38	予算・収支計画は教職員へ公表され有効かつ妥当なものか	2.9	3.5	2.8
(8)学生募集他	44	各種奨学金の説明は公平かつ適切に行われているか	2.9	3.5	3.1

2、自己評価結果の概要

教育に関する項目が多い為

1) 回収率は73%であった。（昨年100%）

昨年は事務職員も含めたが、本年は教員のみとした。N=15（11名回答）

2) 昨年度と比較すると、殆どの評価項目（1～52）で評価は、横ばいもしくは低下した。

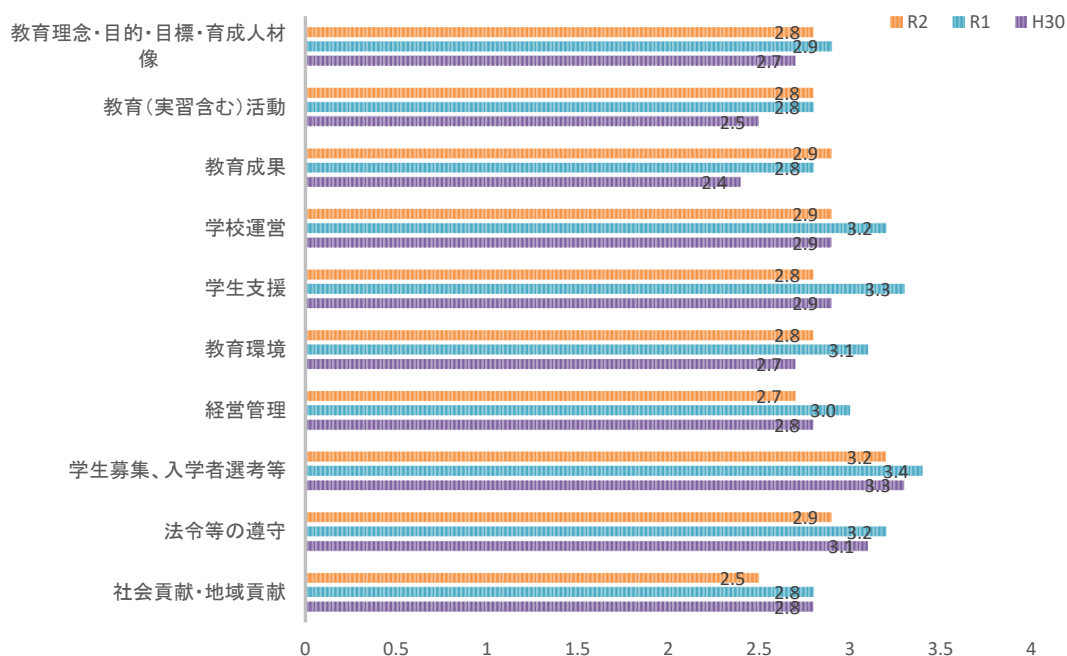
3) カテゴリー別の結果では、「学生支援」が、0.5ポイント低下した。

4) 評価結果の考察

- ① 令和2年2月ごろより、新型コロナウイルス感染対策で諸活動の制限があり、講義・実習・学校行事等計画通り実施出来なかった。
- ② 突然の休校や実習中止で、講師への対応、代替案の作成、休暇の短縮等があり、先行きの不安やストレスが生じ、教職員に余裕がなかった。
- ③ ICT環境の整備のが遅れ、携帯対応（zoom）となり、学習環境が学生にとって効果的・効率的とは言い難かった。
- ④ 組織として、教員の量的負担や質的負担の軽減をうまく調整できなかった。
- ⑤ 国家試験対策は、年度当初から3年生を少数数に分け担当教員を決め、計画的に取り組んだ。
- ⑥ 2022年度の看護基礎教育カリキュラム改正に向け研修や学習会等進め、現カリキュラムの評価を行った。

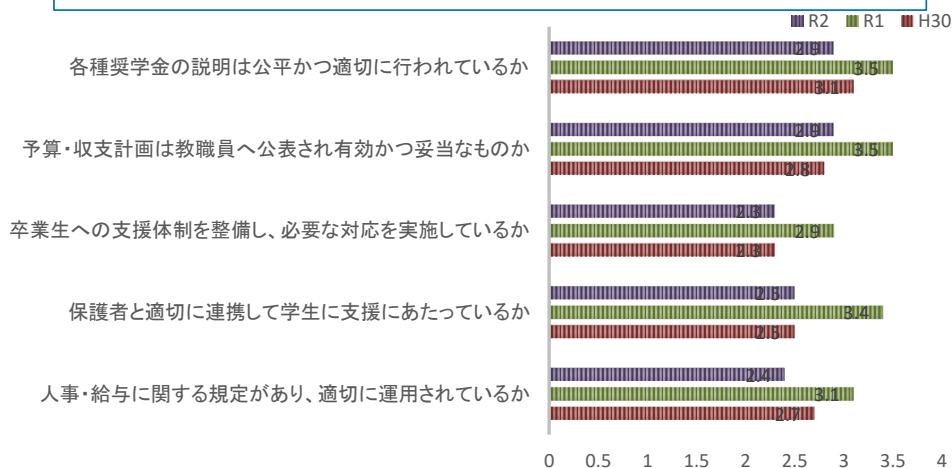
項目	H30	R1	R2
社会貢献・地域貢献	2.8	2.8	2.5
法令等の遵守	3.1	3.2	2.9
学生募集、入学者選考等	3.3	3.4	3.2
経営管理	2.8	3.0	2.7
教育環境	2.7	3.1	2.8
学生支援	2.9	3.3	2.8
学校運営	2.9	3.2	2.9
教育成果	2.4	2.8	2.9
教育（実習含む）活動	2.5	2.8	2.8
教育理念・目的・目標・育成人材像	2.7	2.9	2.8

カテゴリ別の評価（H30、R1、R2年の比較）



項目	H30	R1	R2
人事・給与に関する規定があり、適切に運用されているか	2.7	3.1	2.4
保護者と適切に連携して学生に支援にあたっているか	2.5	3.4	2.5
卒業生への支援体制を整備し、必要な対応を実施しているか	2.3	2.9	2.3
予算・収支計画は教職員へ公表され有効かつ妥当なものか	2.8	3.5	2.9
各種奨学金の説明は公平かつ適切に行われているか	3.1	3.5	2.9

項目別の評価（昨年より0.5ポイント以上低下した項目）



(1) 教育理念・目的・目標・育成人材像

	評 価 項 目	評価
1	学校の理念・目的・目標・育成人材像は、一貫しているか	3
2	学校の理念・目的・目標・育成人材像は、教職員に周知されているか	2.9
3	学校の理念・目的・目標・育成人材像は、学生・保護者等に周知されているか	2.7
4	学校の理念・目的・目標は、学生の学習指針となるよう具体的に示しているか	2.5

(2) 教育（実習含む）活動

	評 価 項 目	評価
5	カリキュラムは教育理念・目的・目標に沿って編成しているか	3
6	カリキュラムは体系的に（順序性や理解力に依拠して）編成され、妥当性のある内容か	2.7
7	卒業時の到達目標や社会のニーズに対応した教科内容であり、学習時間を十分確保しているか	2.7
8	授業評価体制があり、効果的な指導を行うために教員間の協力体制はあるか	2.5
9	単位認定、進級・卒業判定等の基準は明確であるか、それらは学生に周知されているか	2.6
10	学生の教育目標達成に向け、講義（実習含む）を行う要件を備えた人材を、教員として確保しているか	2.8
11	教員の資格取得や資質向上（研修）などへの支援は十分か	3

(3) 教育成果

	評 価 項 目	評価
12	就職率（進学率）の向上が図られているか	3.5
13	資格取得率（国家試験合格）の向上に向け、教職員全体で取り組んでいるか	3.6
14	退学・留年等の低減のための取組が、効果的に行われているか	2.3
15	卒業生の就職先での評価や社会的な活躍を把握しているか	2.5
16	卒業生の動向を把握し、教育活動の改善に活用しているか	2.3

(4) 学校運営

	評 価 項 目	評価
17	学校の運営方針・将来計画・年間目標は、教職員に明示・周知されているか	2.9
18	年間目標に沿って事業計画を立案し、事業計画に沿った組織運営を行っているか	3
19	組織運営や意思決定機能は、学則等に明示しているか	3.2
20	意思決定システムは確立しており、適切に運用されているか	2.5
21	人事、給与に関する規程等があり、適切に運用されているか	2.4
22	人事評価制度はあるか	2.7
23	学校運営評価を行い、その結果を公表しているか	3.5
24	学校運営評価をもとに外部の意見を聞き、改善計画を立てているか	3.2
25	学校運営・教育等に関する情報公開を適切に行っているか	3.1
26	情報システム化等による業務の効率化を図っているか	2.7

(5) 学生支援

	評 価 項 目	評価
27	進路・就職に関する支援体制を整備し、効果的に実施しているか	2.9
28	学生の悩み等に関する相談対応の窓口があり、定期的に開設しているか	3.4
29	学生に対する経済的な支援体制を整備し、効果的に実施しているか	2.8
30	学生の健康管理を組織的・計画的に実施し、必要な対応を実施しているか	3.1
31	保護者と適切に連携して学生の支援に当たっているか	2.5
32	卒業生への支援体制を整備し、必要な対応を実施しているか	2.3

(6) 教育環境

	評 価 項 目	評価
33	施設・設備を、教育上の必要性に応じて整備し、学習環境の充実に努めているか	3.2
34	施設・設備の改善計画があり、計画に沿って整備しているか	2.8
35	危機管理体制を確立し、かねてから対応できているか	2.5
36	学外の実習施設の教育環境を整え、実習効果が上がるよう努めているか	2.6

(7) 経営管理

	評 価 項 目	評価
37	財務基盤は中長期的に、安定しているか	2.7
38	予算・収支計画は教職員へ公表され、有効かつ妥当なものとなっているか	2.5
39	財務について会計監査が適正に行われているか	3
40	財務情報公開の体制を整備し、公開しているか	2.7

(8) 学生募集、入学者選考等

	評 価 項 目	評価
41	学生募集活動は、計画的に行われているか	3.4
42	学生募集活動において、教育内容や成果は適切に伝えられているか	3.1
43	入学者選考は適切かつ公正に行われているか	3.2
44	各種奨学金の説明は、公平かつ適切に行われているか	2.9
45	ホームページや広報誌は、学校情報をわかりやすく伝え、計画的にリニューアルされているか	3.5

(9) 法令等の遵守

	評 価 項 目	評価
46	法令・設置基準等を遵守し、適正な運営を行っているか	3.2
47	行政への報告等は、遅滞なく、確実に実施しているか	3.2
48	法令や規則の改正等に関する最新情報を得ようと努力し、学校運営に反映しているか	2.9
49	学生や教職員の人権・個人情報保護に対し、十分な対策をとっているか	2.4

(10) 社会貢献・地域貢献

	評 価 項 目	評価
50	地域社会の一員として学生や教職員は、社会・地域貢献をしているか	2.5
51	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2.3
52	地域に対する公開講座、教育研修の受託等を積極的に実施しているか	2.5